

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	フェイスシートを活用し本人が終末期をどうしたいのかお話しをし、家族・協力医療機関と共に方針を共有して活きたい。	フェイスシートの「私のターミナルや死後についての願いや要望は・・・」の所を全入居者に尋ねる。	フェイスシートのターミナル部分を聞くと共に、それについてケアカンファレンス等で職員同士話し合いをして行く。本人の意向を踏まえ、家族・協力医療機関とお話し合いを設け、今後の対応や方針について、話し合いを行っていく。	12 ヶ月
2	16	定期的に防災訓練をして生き、職員の意識向上を図りたい。	職員の防災意識の向上。	今回の防災訓練から指示者を立て、指示者の指示にて動く訓練を新たに取り組む。	24 ヶ月
3	17	職員一人一人が入居者様に対し、目上の方を敬う言葉使いを心がけるようにして活きたい。理念である「いつも感謝の気持ちを胸に、明るく・優しく・笑顔で、共に思い、支えあいます。」をモットーに日々の業務にあたるようにして活きたい。	職員の言葉使い・理念に対する意識の向上。	ホーム会議や申し送り時に言葉使いや理念について繰り返し話し、全職員で共有して活かよう取り組む。	24 ヶ月
4	2	地域の保育園に慰問し交流を深めて活きたい。甲仲原のボランティアを活用して活きたい。	地域の保育園等、身近な方々との交流を深める。	英会話教室の子供達と交流を続けながら、保育園や地域の方々と少しずつ交流の範囲を広めて行く。	12 ヶ月
5					ヶ月